

頭付きスタッドの押抜き試験に関する文献リスト (出典元別分類, 発表年順)

1. 日本建築学会

1) 建築学会研究報告

001	平野 道勝, 石川 孝重: スタッドコネクタの押し抜き実験 STUD 9φを用いた場合, 日本建築学会研究報告集 構造系, 第 52 巻, pp.233~236, 1981 年 7 月 10 日.
002	三井 宜之, 村上 聖, 江良 弘樹, 坂井 廣道, 中村 守康: 炭素繊維補強コンクリートと H 型鋼の合成パネルの曲げ載荷試験(その 3)(構造), 日本建築学会研究報告 九州支部 1 構造系, 第 33 巻, pp.381~384, 1992 年 3 月 1 日.

2) 建築学会学術講演会梗概集

003	山田 捻, 福田 晴男: スタッドジベルの力学性状に関する実験的研究, 建築学会大会学術講演梗概集 構造系, pp.479~480, 1971 年 11 月.
004	平野 道典, 友永 久雄: 合成梁に関する実験的研究 その 1 押し抜き試験, 日本建築学会大会学術講演梗概集 構造系, 第 47 巻, pp.1507~1508, 1972 年 9 月 5 日.
005	青柳 司, 内田 直樹, 和田 章, 武田 寿一, 江戸 宏彰: 合成ばりの実大試験 その 1 実験計画・押し抜き試験, 日本建築学会学術研究発表会梗概集 構造系, 第 43 回, pp.33~36, 1973 年 3 月 23 日.
006	友永 久雄, 平野 道勝: 合成梁に関する実験的研究(その 3・押し抜き試験'72), 日本建築学会大会学術講演梗概集 構造系, 第 48 巻, pp.1551~1552, 1973 年 10 月.
007	平野 道勝, 穂積 秀雄: 合成梁に関する実験的研究 その 4 押し抜き試験'73, 日本建築学会大会学術講演梗概集 構造系, 第 49 巻, pp.1085~1086, 1974 年 8 月 20 日.
008	平野 道勝, 穂積 秀雄: 引張力をうけるスラブに埋込まれたスタッドコネクタの押し抜き試験(1), 日本建築学会学術講演梗概集 構造系, 第 50 巻, pp.947~948, 1975 年 8 月 25 日.
009	平野 道勝, 穂積 秀雄, 吉川 精夫: 引張力をうけるスラブに埋め込まれたスタッドコネクタの押し抜き試験(2), 日本建築学会学術講演梗概集 構造系, 第 51 巻, pp.1517~1518, 1976 年 8 月 25 日.
010	平野 道勝, 穂積 秀雄, 吉川 精夫: PC スラブを鋼梁に接合するスタッド・コネクタの押し抜き試験, 日本建築学会学術講演梗概集 構造系, 第 52 巻, pp.1293~1294, 1977 年 10 月.
011	福田 雄一: スタッドコネクタの押し抜き試験, 日本建築学会学術講演梗概集 構造系, 第 53 巻, pp.1911~1912, 1978 年 8 月 20 日.
012	平野 道勝, 石川 孝重: スタッドコネクタ(STUD9φ)の押し抜き実験, 日本建築学会学術講演梗概集 構造系, 第 56 巻, pp.2161~2162, 1981 年 9 月.
014	巖 詰 煥, 井上一郎, 辻岡 静雄, 新居 努: 高強度スタッドの力学諸特性について (予備実験), 建築学会大会学術講演梗概集 構造系, pp.1377~1378, 1989 年 10 月.
015	篠原 敬治, 小林 行雄, 椎野 高行: 鉄骨フレーム耐震補強壁の接合部に関する実験的研究 その 1 スタッドと樹脂アンカーの押し抜き試験, 日本建築学会学術講演梗概集 C 構造 II, 1990, pp.705~706, 1990 年 9 月 1 日.
016	佐藤 和広, 井上一郎, 尾形 素臣: 太径・高強度スタッドシアコネクタの押し抜き試験(1), 日本建築学会学術講演梗概集 C 構造 II, 1991, pp.1677~1678, 1991 年 8 月 1 日.
017	松久 勝也, 井上一郎, 尾形 素臣: 高強度スタッドの開発研究, 建築学会大会学術講演梗概集 構造系, pp.1785~1786, 1992 年 8 月.
018	須戸 智一, 井上一郎, 田川 泰久, 松久 勝也, 尾形 素臣: 頭付きスタッドの押し抜き試験方法の標準化に関する研究, 日本建築学会学術講演梗概集 C-1 構造 III 木質構造 鉄骨構造 鉄骨鉄筋コンクリート構造, 1995, pp.853~854, 1995 年 7 月 20 日.
019	駿河 良司, 尾形 素臣, 井上一郎, 田川 泰久: 頭付きスタッド押し抜き試験の標準化に関する実験 デッキ貫通溶接の場合, 日本建築学会学術講演梗概集 C-1 構造 III 木質構造 鉄骨構造 鉄骨鉄筋コンクリート構造, 1995, pp.855~856, 1995 年 7 月 20 日.
020	田川 泰久, 駿河 良司, 竹下 和彦: デッキプレート付スラブに埋込まれた頭付スタッドの押し抜き試験 その 1. 鉄骨梁にスタッドを直に溶接した場合, 日本建築学会学術講演梗概集 C-1 構造 III 木質構造 鉄骨構造 鉄骨鉄筋コンクリート構造, 1996, pp.521~522, 1996 年 7 月 30 日.
021	駿河 良司, 田川 泰久, 竹下 和彦: デッキプレート付スラブに埋込まれた頭付スタッドの押し抜き試験 その 2. スタッド 1 本をデッキ溝に貫通溶接した場合, 日本建築学会学術講演梗概集 C-1 構造 III 木質構造 鉄骨構造 鉄骨鉄筋コンクリート構造, 1996, pp.523~524, 1996 年 7 月 30 日.
022	竹下 和彦, 田川 泰久, 駿河 良司: デッキプレート付スラブに埋込まれた頭付スタッドの押し抜き試験 その 3. 貫通溶接で高強度コンクリートの場合, 日本建築学会学術講演梗概集 C-1 構造 III 木質構造 鉄骨構造 鉄骨鉄筋コンクリート構造, 1996, pp.525~526, 1996 年 7 月 30 日.
023	田川 泰久, 堀田 洋志, 中楚 洋介, 浅田 勇人: デッキプレートを用いた合成梁における頭付きスタッドの押し抜き試験 太径スタッドの配置と突出長さの力学性状への影響 その 1, 日本建築学会学術講演梗概集, 2012(構造 III), pp.855~856, 2012 年 9 月 12 日.
024	堀田 洋志, 田川 泰久, 浅田 勇人: デッキプレートを用いた合成梁における頭付きスタッドの押し抜き試験 太径スタッドの配置と突出長さの力学性状への影響 その 2, 日本建築学会学術講演梗概集, 2012(構造 III), pp.857~858, 2012 年 9 月 12 日.
025	堀田 洋志, 田川 泰久, 加納 和麻: デッキプレートを用いた合成梁における頭付きスタッドの押し抜き試験 太径スタッドの突出長さによる変形状態への影響 その 1, 日本建築学会学術講演梗概集, 2013(構造 III), pp.1181~1182, 2013 年 8 月 30 日.
026	加納 和麻, 田川 泰久, 堀田 洋志: デッキプレートを用いた合成梁における頭付きスタッドの押し抜き試験 太径スタッドの突出長さによる変形状態への影響 その 2, 日本建築学会学術講演梗概集, 2013(構造 III), pp.1183~1184, 2013 年 8 月 30 日.
029	加納 和麻, 田川 泰久, 山口 千尋: デッキプレートを用いた合成梁における頭付きスタッドの押し抜き試験 太径スタッドのせん断耐力評価に関する一提案 その 1, 日本建築学会学術講演梗概集, 2014(構造 III), pp.899~900, 2014 年 9 月 12 日.
030	山口 千尋, 田川 泰久, 加納 和麻: デッキプレートを用いた合成梁における頭付きスタッドの押し抜き試験 太径スタッドのせん断耐力評価に関する一提案 その 2, 日本建築学会学術講演梗概集, 2014(構造 III), pp.901~902, 2014 年 9 月 12 日.
031	大谷 恭弘, 石川 孝重, 渡部 健太, 佐々木 一明, 稲本 晃士, 内海 祥人: 太径φ25 頭付きスタッドの押し抜きせん断実験と強度評価, 日本建築学会学術講演梗概集, 2014(構造 III), pp.1375~1376, 2014 年 9 月 12 日.
1009	田川 泰久, 加納 和麻, 山口 千尋, 今村 しおり: デッキプレートを用いた合成梁における太径スタッドの実験的研究: 押し抜き試験と小梁曲げ試験の相関 その 1, 学術講演梗概集 2015(構造 III), pp.911~912, 2015 年 9 月 4 日.
1010	加納 和麻, 田川 泰久, 山口 千尋, 今村 しおり: デッキプレートを用いた合成梁における太径スタッドの実験的研究: 押し抜き試験と小梁曲げ試験の相関 その 2, 学術講演梗概集 2015(構造 III), pp.913~914, 2015 年 9 月 4 日.
1011	貞末 和史, 高橋 誠功, 尾籠 秀樹: 傾斜型頭付きスタッドに関する実験的研究(その 1) 接合部の実験計画, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 2016(構造 III), pp.1457~1458, 2016 年 8 月.

1012	高橋 誠功, 貞末 和史, 尾籠 秀樹: 傾斜型頭付きスタッドに関する実験的研究(その2) 実験結果, 日本建築学会大会学術講演梗概集(九州), 2016(構造III), pp.1459~1460, 2016年8月.
------	--

3)日本建築学会論文報告集

032	牧野 稔, 広沢 雅也, 田畑 貞和, 高田 十治, 牧 純一: スタッドコネクタの押し抜き試験について, 日本建築学会論文報告集 号外 学術講演要旨集, 第42巻, 第455号, 1967年10月.
033	平野 道勝, 穂積 秀雄, 吉川 精夫, 友永 久雄: 床鋼板つきコンクリートスラブに埋込まれたスタッドコネクタの押抜き試験, 日本建築学会論文報告集, 第281号, pp.57~69, 1979年7月30日.
034	平野 道勝, 穂積 秀雄, 伊藤 学, 藤岡 宏, 延命 慶徳, 伊藤 善三: 合成スラブ用デッキプレートの溝に埋め込まれたスタッドコネクタの押抜き試験, 日本建築学会構造系論文報告集, 第371号, pp.72~85, 1987年1月30日.

4)日本建築学会構造系論文集

036	安田 聡, 道越 真太郎, 小林 裕, 成原 弘之: 高温における頭付きスタッドのせん断耐力に関する実験的研究, 日本建築学会構造系論文集, 第73巻, 第630号, pp.1417~1423, 2008年8月30日.
-----	---

5)複合・合成構造の活用に関するシンポジウム講演集

079	則松 一揮, 田中 照久, 堺 純一, 河野 昭彦: 繰返しせん断力を受ける各種ずれ止めの力学的性状に関する実験的研究, 第10回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム, pp.20-1~20-8, 2013年.
-----	---

2.土木学会

1)土木学会技術研究発表会

037	渡邊裕人, 中島章典, 橋本昌利: 頭付きスタッドの新しい押抜き試験方法の検証実験, 土木学会関東支部技術研究発表会, 第39巻, 第1号, I-47, 2012年.
-----	---

2)土木学会論文集

038	赤尾親助, 栗田章光, 平城弘一: 頭付きスタッドの押抜き挙動に及ぼすコンクリートの打込み方向の影響, 土木学会論文集, 第280号, I-7, pp.311~320, 1987年4月.
039	島 弘, 渡部 誠二: 頭付きスタッドのせん断力-ずれ関係の定式化, 土木学会論文集A, 第64巻, 第4号, pp.935~947, 2008年.
040	今川 雄亮, 大山 理, 栗田 章光: 火災時および火災後におけるスタッドの力学特性, 土木学会論文集A, 第65巻, 第2号, pp.384~394, 2009年.
041	島 弘: 頭付きスタッドのせん断力とずれ変位およびスタッド軸方向挙動との関係に及ぼす試験方法の影響, 土木学会論文集A1(構造・地震工学), 第67巻, 第2号, pp.307~319, 2011年.
042	大城壮司, 上條崇, 奥井義昭, 長井正嗣: プレキャスト床版連続合成桁のずれ止めに関する実験および解析, 土木学会論文集A1(構造・地震工学), 第68巻, 第2号, pp.331~346, 2012年.
043	平 陽兵, 渡辺 忠朋, 齊藤 成彦, 溝江 慶久, 島 弘, 中島 章典: 制御されたせん断力と軸方向圧縮力を受ける頭付きスタッドのせん断耐力とせん断力-ずれ変位関係, 土木学会論文集A1(構造・地震工学), 第70巻, 第5号, II_69-II_80, 2014年.
044	高橋良輔, 斎藤成彦, 中島章典, 島弘: 単純支持と開き止めを併用した押抜き試験における頭付きスタッドの耐荷挙動, 土木学会論文集A1(構造・地震工学), 第71巻, 第1号, pp.113~127, 2015年.

3)土木学会学術講演会梗概集

045	大久保宣人, 小松恵一, 石原靖弘, 栗田章光, 中島星佳: グループ配置したスタッドの押抜き試験, 土木学会第56回年次学術講演会梗概集, CS2-10, 2001年10月.
047	永尾和夫, 中島章典, 渡瀬博, 原健悟: コンクリート床版箱抜き部とモルタル層を用いた頭付きスタッド押抜き試験体の押抜き性状, 土木学会第68回年次学術講演会梗概集, CS3-014, 2013年9月.
048	渡辺, 牧剛史: 持続的荷重を受けるスタッド接合部の力学特性に関する研究, 土木学会第68回年次学術講演会梗概集, CS3-13, 2013年9月.
049	大谷恭弘, 中島章典, 渡部健太, 佐々木一明, 稲本晃士, 内海祥人: 軸径25mm 頭付きスタッドの押抜きせん断強度性状, 土木学会第69回年次学術講演会梗概集, CS3-07, 2014年9月.

4)構造工学論文集

050	平城弘一, 松井繁之, 福本秀士: 頭付きスタッドの強度評価式の誘導—静的強度評価式—, 構造工学論文集, Vol.35A, pp.1221~1232, 1989年3月.
053	保坂鐵矢, 中村俊一, 西海健二: 鋼管桁の曲げ耐力およびRC床版とのずれ止めに関する実験的研究, 構造工学論文集, Vol.43A, pp.1301~1312, 1997年3月.
054	山本 真気, 木部 謙吾, 大山 理, 大久保 宣人, 栗田 章光: 二重合成2主I桁橋の下コンクリート床版におけるスタッドの設計法, 構造工学論文集, Vol.55A, pp.1102~1113, 2009年.
056	大山 理, 栗田 章光: 二重合成2主I桁橋の下コンクリート床版に配置された鉛直および水平スタッドの静的および疲労挙動に関する研究, 構造工学論文集, Vol.57A, pp.978~986, 2011年3月.
058	中島章典, 岡崎康幸, グエンバンユン: グループスタッドを配置したプレキャスト床版合成桁の詳細挙動に関する基礎実験, 構造工学論文集, Vol.61A, pp.788~797, 2015年3月.

5)複合・合成構造の活用に関するシンポジウム講演集

059	平城弘一, 栗田章光, 赤尾親助: スタッドの押抜き試験挙動に及ぼす影響因子に関する基礎的研究, 第1回合成構造の活用に関するシンポジウム講演論文集, No.13, pp.81~89, 1986年9月.
079	則松 一揮, 田中 照久, 堺 純一, 河野 昭彦: 繰返しせん断力を受ける各種ずれ止めの力学的性状に関する実験的研究, 第10回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム, pp.20-1~20-8, 2013年.

3.コンクリート工学協会

1)コンクリート工学年次論文報告集

062	松井 繁之, 平城 弘一, 石崎 茂: スタッドの非合成桁橋への適用に関する研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第 19 巻, 第 2 号, pp.1413~1418, 1997 年 6 月 9 日.
063	前田 泰秀, 石崎 茂, 平城 弘一, 池尾 良一: 高剛性を目指したスタッドの開発, コンクリート工学年次論文報告集, 第 21 巻, 第 3 号, pp.1087~1092, 1999 年 6 月 21 日.
064	笠井 裕次, 佐藤 宏治, 大下 英吉, 河村 哲男: 拘束効果を有する鋼コンクリート界面の付着性状に関する研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第 21 巻, 第 3 号, pp.1093~1098, 1999 年 6 月 21 日.
065	笠井 裕次, 山野 誠悦, 河村 哲男, 大下 英吉: スタッドを有する鋼コンクリート界面における付着性状の統一モデルに関する研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第 22 巻, 第 3 号, pp.1171~1176, 2000 年 6 月 1 日.
066	左東 有次, 日野 伸一, 太田 俊昭, 田村 一美: 超軽量コンクリートを用いた鋼・コンクリート合成部材の力学特性, コンクリート工学年次論文報告集, 第 22 巻, 第 3 号, pp.1177~1182, 2000 年 6 月 1 日.
068	清水良平, 橋吉宏, 北川幸二, 平城弘一: 遅延合成スタッドのせん断及び引抜き特性, コンクリート工学年次論文報告集, 第 25 巻, 第 2 号, pp.1609~1614, 2003 年.
069	外山 征, 村上 祐貴, 大下 英吉: スタッドを有する鋼コンクリート界面における曲げ理論に基づく付着モデルの構築, コンクリート工学年次論文報告集, 第 26 巻, 第 2 号, pp.427~432, 2004 年 6 月 25 日.
070	澤 大輔, 中村 定明, 池尾 良一 他, 平城 弘一: スパイラル筋によって補強された高強度スタッドジベル接合部のせん断耐荷力, コンクリート工学年次論文報告集, 第 26 巻, 第 2 号, pp.1441~1446, 2004 年 6 月 25 日.
071	渡部誠二, 島弘: 頭付きスタッドのせん断力-ずれ変位関係に関する実験的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第 30 巻, 第 3 号, pp.1333~1338, 2008 年.

2) コンクリート工学論文集

067	笠井 裕次, 河村 哲男, 大下 英吉: スタッド付き鋼・コンクリート界面の付着性状に及ぼす側圧効果の影響に関する研究, コンクリート工学論文集, 第 13 巻, 第 2 号, pp.1~13, 2002 年.
-----	---

4.清水建設

1)清水建設研究報告

072	吉武謙二, 前孝一, 小川晃, 大崎雄作, 磯田和彦: 土留め壁の H 形鋼芯材を本体利用した合成壁のシアコネクタに関する押抜き試験, 清水建設研究報告, 第 82 号, pp.31~41, 2005 年 10 月.
-----	--

5.日本鋼構造協会

1) 鋼構造論文集

073	三好栄二, 塚田昇平, 打越瑞昌, 藤木清弘, 南宏一: 傾斜スタッド開発, 鋼構造論文集, 第 1 巻, 第 3 号, pp.139~146, 1994 年 9 月.
074	田川 泰久, 平城 弘一, 尾形 素臣, 井上 一朗, 松井 繁之: 頭付きスタッドの押抜き試験法の標準化に関する検討, 鋼構造論文集, 第 2 巻, 第 8 号, pp.47~60, 1995 年.
075	小林 潔, 平城 弘一, 祝 賢治, 笠間 慈弘: 拘束を受けるコンクリート内に埋め込まれたスタッドの静的強度に関する実験的研究, 鋼構造論文集, 第 7 巻, 第 27 号, pp.59~70, 2000 年.

3)JSSC 日本鋼構造協会機関誌

082	松井 繁之: 頭付きスタッドの押抜き試験方法の標準化【案】の概要, JSSC 日本鋼構造協会機関誌, 第 21 巻, pp.35~36, 1996 年 7 月 31 日.
-----	---

7.鹿島建設

1)鹿島技術研究所年報

084	稲葉 洋平, 関田 徹志, 桜本 文敏: 構造用超軽量コンクリートの開発(その 3)鉄筋ばりとの合成効果, 鹿島技術研究所年報, 第 49 巻, pp.101~106, 2001 年 9 月.
-----	--

8.大阪工業大学

1)大阪工業大学中研所報

085	赤尾 親助, 栗田 章光, 平城 弘一: 頭付きスタッドの押抜き挙動に及ぼすコンクリートの打込み方向の影響, JSSC テクニカルレポート 頭付きスタッドの押抜き試験方法(案)とスタッドに関する研究の現状, 第 35 巻, pp.25~34, 1996 年 11 月.
-----	--

9.富士製鉄

1)製鉄研究

086	新日本製鉄: スタッドジベル押抜き試験報告(土木用鋼材研究会-上-(特集)), 製鉄研究, 第 267・268 号, pp.9128~9132, 1970 年 3 月.
-----	--

鉄道総合技術研究所

鉄道総研報告

1006	中原正人, 谷口望, 池田学, 福岡寛記: 合成桁のずれ止めせん断耐力評価法, 鉄道総研報告, 第 23 巻, 第 5 号, pp.29~34, 2009 年 5 月.
------	--

10.英文

1)英文

087	J. G. Ollgaard, R. G. Slutter and J. W. Fisher: Shear strength of stud connectors in lightweight and normal-weight concrete, <i>AISC Engineering Journal</i> , pp.55-64, 1971.4.
088	Li An and Krister Cederwall: Push-out Tests on Studs in High Strength and Normal Strength Concrete, <i>Journal of Constructional Steel Research</i> . Vol. 36, No. 1, pp.15-29, 1996.

089	Chang-Su Shim, Pil-Goo Lee and Tae-Yang Yoon: Static behavior of large stud shear connectors, <i>Journal of Engineering Structures</i> , Vol.26, pp.1853–1860, 2004.
090	Pil-Goo Lee, Chang-Su Shim and Sung-Pil Chang: Static and fatigue behavior of large stud shear connectors for steel concrete composite bridges, <i>Journal of Constructional Steel Research</i> , Vol.61, pp.1270–1285, 2005.
091	Miah.M. K., Nakajima A., Saiki I, Nakamura M. and Ooe H.: An experimental study on shear force distribution among studs in grouped and ungrouped arrangements, <i>Journal of Structural Engineering</i> , Vol.51A, pp.1509-1520. 2005.3
092	Dennis Lam: Capacities of headed stud shear connectors in composite steel beams with precast hollowcore slabs, <i>Journal of Constructional Steel Research</i> , Vol.63, pp.1160–1174, 2007.
095	H.B. Shim, K.S. Chung, S.H. Jang, S.J. Park and J.H. Lee: Push-out tests on shear studs in high strength concrete, <i>Fracture Mechanics of Concrete and Concrete Structures-Assessment, Durability, Monitoring and Retrofitting of Concrete Structures, Seoul, ISBN 978-89-5708-181-5</i> , pp.831-834, 2010.
096	M. H. Shen and K. F. Chung: An Investigation into Shear Resistances of Headed Shear Studs in Solid concrete slab with local aggregates in Hong Kong, <i>The Twelfth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction</i> , pp.1098-1105, 2011.
097	O. Dogan and T.M. Roberts: Fatigue performance and stiffness variation of stud connectors in steel-concrete-steel sandwich systems, <i>Journal of Constructional Steel Research</i> , Vol.70, pp.86-92, 2012.
098	Chen Xu, Kunitomo Sugiura, Chong Wu and Qingtian Su: Parametrical static analysis on group studs with typical push-out tests, <i>Journal of Constructional Steel Research</i> , Vol.72, pp.84-96, 2012.
099	Dongyan Xue, Yuqing Liu, Zhen Yu and Jun He: Static behavior of multi-stud shear connectors for steel-concrete composite bridge, <i>Journal of Constructional Steel Research</i> , Vol. 74, 1-7, 2012.
100	Zhaofei Lin, Yuqing Liu and Jun He: Behavior of stud connectors under combined shear and tension loads, <i>Journal of Engineering Structures</i> , Vol.81, pp.362-376, 2014.
103	Xiaoqing Xu, Yuqing Liu and Jun He: Study on mechanical behavior of rubber-sleeved studs for steel and concrete composite structures, <i>Construction and Building Materials</i> , Vol.53, pp.533-546, 2014.
104	Qinghua Han, Yihong Wang, Jie Xua and Ying Xing: Static behavior of stud shear connectors in elastic concrete–steel composite beams, <i>Journal of Constructional Steel Research</i> , Vol.113, pp.115-126, 2015.
106	Jee-Sang Kim, Jongwon Kwark, Changbin Joh, Sung-Won Yoo and Kyoung-Chan Lee: Headed stud shear connector for thin ultrahigh-performance concrete bridge deck, <i>Journal of Constructional Steel Research</i> , Vol.108, pp.23-30, 2015.